

平成28年度 大館市立城南小学校 学校評価書 ( 前期 ) ・ 年度 )

A 学校教育目標

ふるさとに学び、どの子どもも喜んで活動する学校

B 本年度の重点目標

「もっている力をさらに高めようとする事」プラス1 ～さらに前進～

C 学校経営の特徴

1. 伸ばしたい力や態度の焦点化…マニフェスト 城南っ子4か条 2016
  - ・キラッとさんがいっぱい
  - ・学ぶ力を高め合おう
  - ・元気っずになろう
  - ・地域に学び、伝えよう
2. 家庭や地域の教育力を積極的に活用した「ふるさとキャリア教育」の一層の推進  
…学校支援地域本部事業



5年 総合的な学習の時間  
「匠プロジェクトⅠ」～働かってどんなこと～  
地域の匠からお話をいただく

6年総合的な学習の時間  
「プロジェクト」  
～ようこそ先生～  
外部講師の方より助言をいただく



D 評価

ア  
児童の  
状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

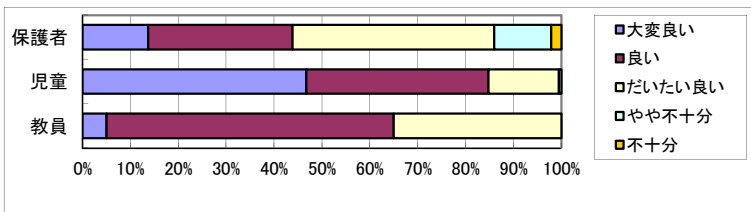
I 自主的・自立的な生活

児童の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感をはぐくもうとしている。	前期 おおむね 良好	良好	ヒアリングした児童からも「あいさつの元気な城南小が好き」という回答があり、また学校外でも地域住民とのあいさつを積極的に行っていると感じる。教室内に写真付きの係紹介を掲示するなど、前向きに楽しく責任をもって、活動に取り組めるような工夫がなされている。
	年度		
と自己評価の改善の善概要	【前期(→年度)】挨拶運動や挨拶指導の継続的な取り組みにより、挨拶は定着している。さらに、相手を意識した挨拶ができるように指導を継続している。また、今年度も、校外での挨拶もしっかりできるように、登校時の挨拶運動や校外学習での指導と実践にも取り組んでいる。また、集団の一員としての自覚を高めるために、学級での役割を明確にしたり、委員会活動を充実させたりしている。規律ある落ち着いた生活については、城南っ子の約束や生徒指導だよりを発行したりしながら、適宜、機会をとらえて学年学級で指導をしている。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1)校内外での元気な挨拶 (2)規律ある落ち着いた生活	学級活動や集会など学校生活全般を通じた指導、挨拶運動 社会規範やルール遵守の指導、学年集会の活用	3	
2 集団生活・集団活動	(3)集団の一員としての自覚のある言動	学級活動の充実、当番活動、係活動、各種行事、委員会活動の推進、学年力アンケートや学年集会の実施	4	

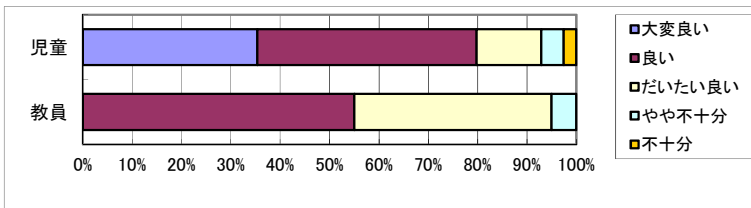
【1に関するデータ】

○地域や学校で元気にあいさつしているか。(平均値 保護者3.41 児童4.27 教員3.70)



- ◇保護者の挨拶運動  
5月(6年保護者)～11月(1年保護者)
- ◇児童の挨拶運動  
4月(6年) 5～6月(学級ごと)
- ◇教員の挨拶運動  
4月(2人ずつ担当)
- ◇委員会の挨拶運動(通年)  
※地域あいさつ運動週間(6月)

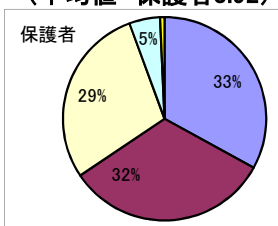
○きまりを守って落ち着いた学校生活を送っているか。(平均値 児童4.04 教員3.50)



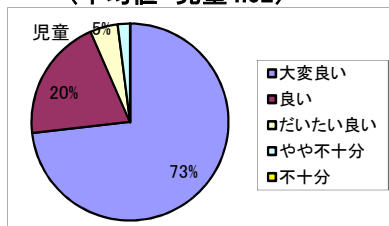
- ◇「城南っ子生活の約束2016」の配付
- ◇学年集会の開催  
各学級で統一した指導ができる。
- ◇生徒指導通信「城南っ子」の配付

【2に関するデータ】

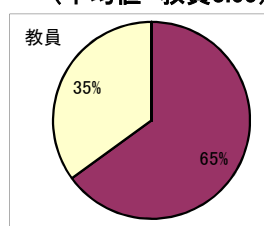
○子どもは、学校が楽しいと話しているか。(平均値 保護者3.92)



○学級みんなのために、係や当番の仕事を責任をもってがんばっているか。(平均値 児童4.62)



○集団の一員としての自覚ある行動をしているか。(平均値 教員3.65)



◇学年目標発表集会の開催

各学年とも趣向を凝らしながら、大きな声で発表し、意識付けが図られた。

(学年目標の例)

1年「しっかりきいて げんきなへんじ えがおであいさつ 1ねんせい」  
4年「仲間を思いやり ちょうせんする 4年生」  
6年「めざせ100点！M(学び)Y(友情)K(きまり)H(一人一人)JR(城南小のリー

## ア 児童の状況

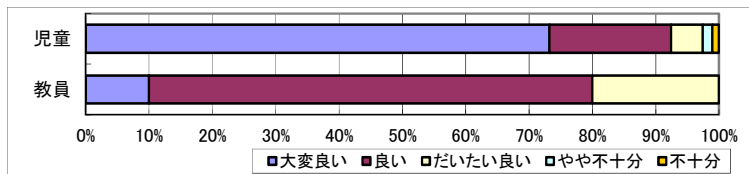
### Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
互いに認め合い、切磋琢磨した学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期	おおむね良好	良好	キラッとさんが学校全体に定着し、お互いのよさを認め合うことが自然にできている。今後も様々な活動を通して認め合うことで、自己有用感を育てほしい。道徳の時間を含み道徳教育のさらなる充実に努め、子どもたちの豊かな人間性を育てていただきたい。
	年度			
と自己評価の改善の善概要	<p>【前期(→年度)】キラッとさんが学校全体のものになり、様々な場面でお互いのよさを認め合うことができています。それが励みとなり、さらに頑張ろうとする気持ちが育ってきている。今年度は、学校キラッとさん、お家キラッとさんという活動も行い、学校や自分のよさを再確認している。今後も一人一人のよさを認め、縦割り班活動や集会、学級活動などで活躍の場を設けることで、自己有用感を高めていきたい。週1時間の道徳の時間を大事にし、さらに充実させるために、先生方に教材研究や保管してある資料の活用などを促してしていきたい。</p>			

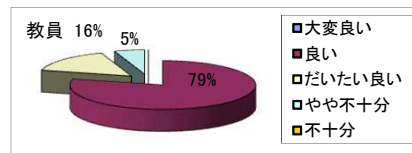
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 自他の理解	(4)自己有用感の育成	人間関係づくり、縦割り班活動、集会活動、一人一人のよさを認め合う場の設定	3	
	(5)道徳の時間の充実	全校道徳の時間の実践、道徳実践力の育成、「わたしたちの道徳」の活用		
4 児童理解	(6)学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応	職員会議での情報交換、教育相談、校内特別支援委員会、児童理解、教育相談	4	

#### [3]に関するデータ

○優しい気持ちで友達に接し、だれとでも仲良くしているか。  
(平均値 児童4.60 教員3.90)



○道徳の時間の充実  
(平均値 教員3.74)



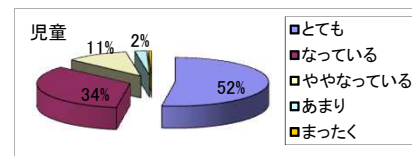
◇キラッとさん(帰りの会での発表、学年だよりへの掲載、放送で紹介、学校キラッとさん、お家キラッとさんの活動)

○取り組みは子ども励みになっているか。(平均値 保護者3.97)

◇うれしい言葉の花束(言葉遣いの指導)

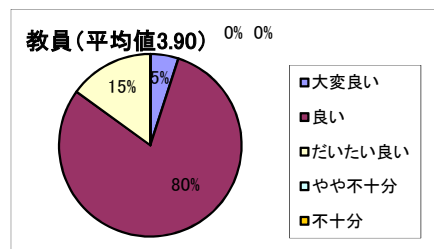
◇クラスみんなで遊ぼう(5~6月) ◇ペア学年集会の実施(7月)

○道徳の授業は自分にプラスになっていますか。(児童4.27)

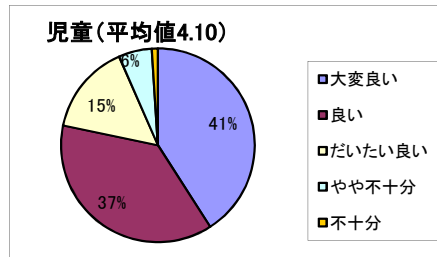


#### [4]に関するデータ

○一人一人に居場所や活躍のある学級



○あなたは友だちの良いところや頑張ったことを見つけてあげていますか。



◇教育相談…5月12日

◇いじめ調査アンケート・教育相談…6月23日

◇生徒指導カード作成…夏休み

◇職員会議での情報交換

○全職員による障害児及び支援を要する児童への指導対応(平均値 教員4.00)

教員 大変良い(5%) 良い(90%) だいたい良い(5%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

◇特別支援教育支援員6名の配置

1年2クラス、2年2クラス、特別支援学級1クラス、個別の支援1

校内特別支援委員会(年3回)、校内就学指導委員会(年3回)で児童の実態を把握し、効果的な支援を行うために配置替えも行っている。特別支援コーディネーターを中心にミーティングも実施。

# ア 児童の状況

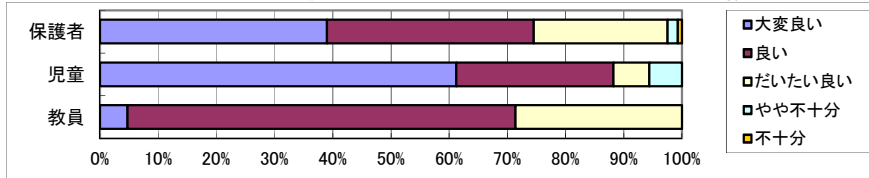
## Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	「早早朝とく運動」や残量調査の取り組みが、成果を上げてきていることがアンケート結果から分かる。体力の向上については、体力テストの結果分析を踏まえつつ、望ましい生活習慣の指導も併せて取り組んでほしい。
	年度		
と自学己校評の価改の善概要策要	【前期(→年度)】「早早朝とく運動」では、早寝早起きや朝食の大切さや徒歩登校のよさを児童に伝えることができ、保護者の意識向上につなげることができた。実態調査を基に2学期は改善または定着を図る指導を行う。食育及び給食指導では、残量調査をすることで、嫌いな物でもがんばって食べる子どもが増えてきている。体力向上では、グラウンドでの業間運動の開始時期を運動会後にずらし、実施回数を各学年週2回に設定したことで、雨天が多い季節でも週1回は活動することができた。走力・泳力調査では、自分の成長を実感できるように、目標をもたせて教科体育や業間運動に取り組ませている。		
	【年度(→次年度)】		

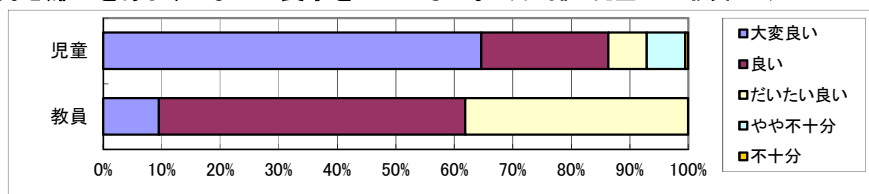
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 保健衛生・食育	(7)健康的な生活習慣の向上	早早朝とく運動、健康チェック、保健だよりの工夫、委員会活動、家庭との連携、ガラガラあわわタイム	3	
	(8)望ましい食習慣の形成	食育および給食指導、委員会活動、残量調査、栄養バランスチェック、給食試食会		
6 体力づくり	(9)継続的な体力づくりの実践	パワーアップ運動と教科体育の充実、城南スポーツタイム、走力・泳力調査の実施、なわとび集会	3	

### [5に関するデータ]

○早ね・早おき・朝ごはんの習慣は身につけているか。(平均値 保護者4.10 児童4.37 教員3.76)



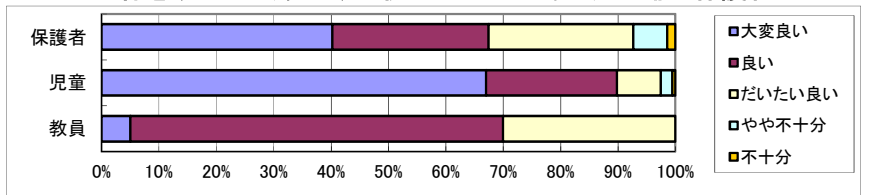
○好き嫌いをあまりしないで食事をしているか。(平均値 児童4.41 教員3.71)



早起きと徒歩登校の関連を  
考え、早寝早起き朝ごはん運  
動に徒歩登校を加えて、強調  
週間を設けた。

### [6に関するデータ]

○自ら進んで体を動かしたり、運動に親しんでいるか。(平均値 保護者3.99 児童4.49 教員3.75)



◇スポ少・部活動入部状態(3年生以上268人中)

	男子	女子	合計
陸上	9	12	21
野球	25	0	25
男子ミニバス	18		18
女子ミニバス		14	14
水泳	23	4	27
金管バンド	2	21	23
カラーガーズ	0	17	17
合計	77	68	145

◇城南スポーツタイム  
 ・上・下学年ごとに週2回実施。  
 ・中休みの15分間。  
 ・内容  
 遊具を活用したマラソン運動  
 用具を活用したサーキット運動  
 雨天は中止  
 ○活動回数を週2回にしたことで、十分な活動日を確保することができた。

平成28年度新体力テストを平成27年度の県平均を100として比較した指数

学年	現1年	現2年	現3年	現4年	現5年	現6年
体力得点 男	98	110	106	95	105	98
体力得点 女	99	103	112	99	95	97

## ア 児童の状況

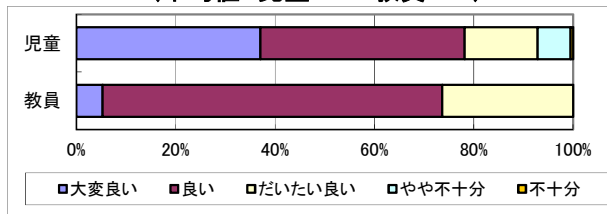
### Ⅳ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	良好	諸調査の結果から、基礎・基本が高いレベルで定着していると言える。主体的な学び合いを実践するために、全校が共通して取り組むことが明確なので、今後は授業研究会等で成果を検証してほしい。
	年度			
善要自 策と己 学評 校価 のの 改概	【前期(→年度)】「学習のきまり達成カード」を活用し、各学級の目標を明確にしなが指導を行った。1学期末には、各学級、さらには学校全体の課題を把握することができた。2学期からは、それらの課題をもとに学習ルールの定着にさらに力を入れて指導していきたい。また、言語活動の目的を明確にして、個々の学習のより一層の理解につながるように取り組んでいきたい。			
	【年度(→次年度)】			

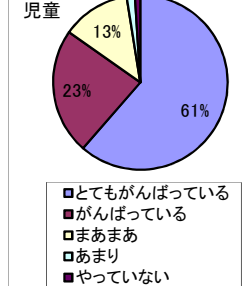
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
7 学習への取り組み	(10)基本的学習習慣の定着	学習のきまりの指導、達成カードの活用、家庭学習の奨励	3	
	(11)基礎・基本の確かな定着	ねらいと評価を大切にた分かる授業づくり、全校一斉テストの実施		
	(12)言語活動の充実	授業における学び合い、発達段階に応じた話型や反応言葉の活用		
	(13)読書習慣の定着	朝読書・読み聞かせの推進、情報活用の充実		
8 諸検査の状況	(14)個に応じた学習指導の充実	TTの効果的な活用、放課後等を利用した補充指導	3	
	(15)国・県学習状況調査・CRT結果等と改善	実態把握と課題分析、改善施策の策定・実施	3	

#### [7に関するデータ]

○学習のきまりを守って学習しているか。  
(平均値 児童4.04 教員3.79)

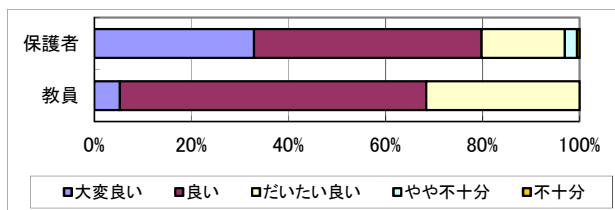


○計画的に家庭学習をがんばっていますか。  
(平均値 児童4.38 保護者3.88)



- ◇家庭学習ノート紹介
- ・廊下に掲示
  - ・学年だよりに掲載
  - ・PTAに合わせてノート展開催

○基礎・基本の確かな定着が見られるか。  
(平均値 保護者4.10 教員3.74)

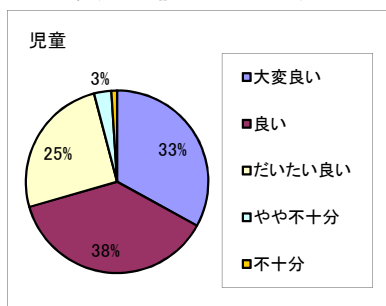


○言語活動の充実を図っているか。  
(平均値 教員3.84)

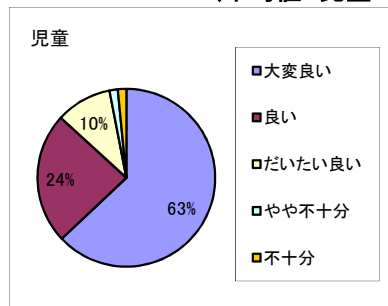
- ・国語・算数科における学び合い
- ・発達段階に応じた話型の活用
- ・反応言葉の活用

○読書習慣の定着  
(平均値 児童4.50 教員3.84)

○授業で、進んで発表や反応をしているか。(平均値 児童3.94)



○個に応じた学習で勉強が分かるようになったか。  
(平均値 児童4.41)



個に応じた学習の取り組みの例

- ・全学年、全時間算数のTTを実施
- ・放課後や長期休業中の個別指導

#### [8に関するデータ]

○全国学力・学習状況調査の結果

国語 A問題: 県平均より+ B問題: 県平均より+ 算数: A問題 県平均より+ B問題: 県平均より+

○全国・県学習状況調査・NRT結果の分析と授業改善 (平均値 教員3.53)

NRT(標準学力検査)は4月実施, 調査結果5月, 学年ごとの分析6月

全国学力・学習状況調査は4月実施, 自校による調査結果5月, 結果に基づく研修会8月

**イ**  
**学校運営**  
**の状況**

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

**V 組織運営**

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
重点目標の具現化に向けて、教職員がチーム城南として連携し、組織的・主体的に取り組んでいる。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	さらなる高みを目指し、重点目標に「プラス1さらに前進」を掲げ、学級カアンケートを実施して、子どもたちと教職員が一丸となって新たな可能性を探ろうとする姿勢は大いに評価したい。数値的な評価だけにとらわれず、教育の原点を見据えた取り組みの成果に今後期待したい。
善要自己と己学評価の改概	【前期(一年度)】重点経営目標のサブタイトルを「プラス1 さらに前進」とし、昨年度掲げた「プラス1一歩前へ」での取り組みを基にしながら、子どもたちがもっている力をさらに高めていけるように、日常的に城南っ子4か条の取り組みを通して指導の積み重ねを行ってきた。取り組みの状況については、今年度も学校報の校長欄で毎月保護者に伝えている。総合での学びを子どもたちが自信をもって地域に発信できるよう今後も後押ししたい。		
	【年度(一次年度)】		

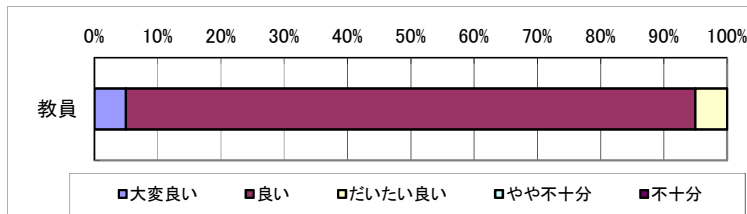
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 学校の明確な経営方針	(16)経営方針や重点目標、施策の明示 (17)城南っ子4か条に向けた組織的な実践	職員会議、PTA総会、校報での明示 指導部による具体的な施策の提案、学年部による継続した実践	4	
10 教育課程の編成と実施	(18)特色ある教育課程の編成と実施	付けたい力を明確にしたふさとキャリア教育の推進	3	
11 職員研修	(19)授業改善と指導力の向上	国語の研究、校内研・諸研修への参加、学年部での教材研究	3	

**[9に関するデータ]**

**○経営方針や重点目標、施策の明示(平均値 教員4.00)**

教員 大変良い(5%) 良い(90%) だいたい良い(5%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

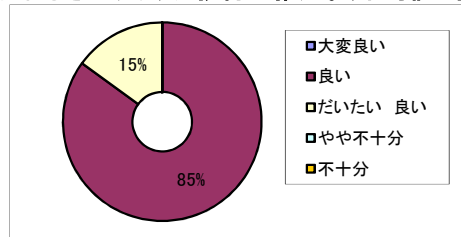
**○城南っ子4か条に向けた組織的な実践をしているか。(平均値 教員4.00)**



城南っ子4か条2016  
 ☆キラッとさんがいっぱい  
 ☆学ぶ力を高め合おう  
 ☆元気ずっになるう  
 ☆地域に学び、伝えよう

**[10に関するデータ]**

**○ふるさとキャリア教育の推進。(平均値 教員3.85)**



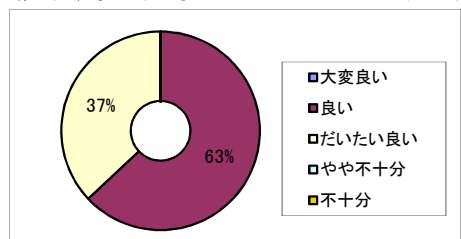
**○H28全国学力学習状況調査結果より**

- ・地域や社会での問題や出来事への関心があると答えた子どもの全県比+12.4% 全国比+22.6%
- ・地域社会のボランティアや行事に参加したことがあると答えた子どもの割合 全県比+14.1% 全国比+42.6%
- ・将来の夢や希望をもっていると答えた子どもの割合 全県比+6.5% 全国比+13%

○活動例 総合的な学習の時間:3年町を知ろう、4年住みよい大館作り隊、5年匠プロジェクト、6年プロジェクトJ～ふるさと大館がぼくらのステージ・おおだてというところ～

**[11に関するデータ]**

**○授業改善と指導力の向上に向けた研修。(平均値 教員3.63)**



**○昨年度から国語を研究教科として取り組んでいる。**

国語科研究主題:深く読み、豊かに表現する子どもの育成  
 ～交流活動を通して読みを深める授業を目指して～

**○授業研究会の実施**

- 6月:国語科指定訪問研究会(1年・6年)
- 7月:総合的な学習指定訪問研究会(5年)
- 9月:特別支援教育スキルアップ授業研修会(わかば・さくら)
- 9月:算数科指定訪問研究会(3年・4年)

## イ 学校運営の状況

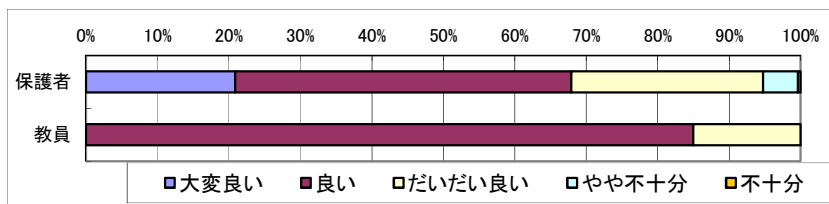
### Ⅶ 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みが分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	おおむね良好	学校の取り組み等については、学校ホームページや学校通信を通じて分かりやすく保護者に伝えられていると思われる。ただ、昨年と比べて保護者の評価が伸び悩んでおり、残念なところである。また、教員の評価も保護者と同程度であることから、今後の改善すべき課題ではないかと考えられる。
	年度		
と自己校評の価改の善概要	【前期(一年度)】学年だよりでは翌週の動きが分かるようにし、学校だよりでは目指す子ども像に関わる記事を中心にした構成とし、学校ホームページでは子どもたちの活動の様子が見て分かるように写真を多く載せてきた。クラブ活動や総合的な学習の時間では、今年度も地域の人材や事業所より多大な協力を得て、学びの多い学習を展開することができている。今後も継続して協力を得ながら進めていきたい。		
	【年度(一次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
12 情報の受発信	(20) 積極的な情報発信	校報・学年通信の充実、メールやホームページによる情報発信	3	
	(21) 保護者・地域からの情報収集	PTA謝会合、家庭訪問、個人面談、民生委員と語る会、学校評議員会、保護者アンケート		
	(22) 積極的な学校開放	「みんなの登校日」、学校行事での積極的な公開		
13 地域の教育力の活用	(23) PTAとの連携強化	学校行事・諸活動等へのPTAの参画及び協力(一人一役・挨拶運動)	4	
	(24) 学校支援地域本部事業を通じた教育力の活用	地域学習の充実、保護者・外部講師による学習支援		

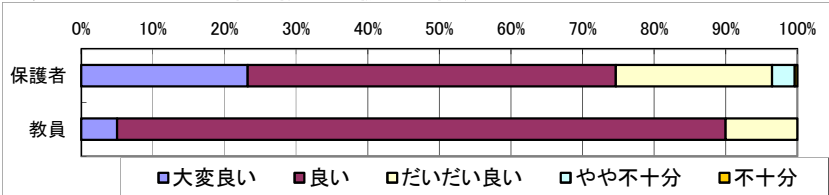
#### [12に関するデータ]

○行事や子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えているか。(平均値 保護者3.83 教員3.85)



- 学校ホームページ Web日記更新回数 4~7月延べ25回 学校報毎月更新
- 学年だより 毎週発行
- 学校報 月末発行

○授業や行事の公開、面談等の機会の設定はよくなされているか。(平均値 保護者3.94 教員3.95)



- ・4月授業参観 4月16日
- ・運動会 5月15日
- ・第1回みんなの登校日 7月7日~7月8日
- ・個人面談 7月25日~29日
- ・城南オリンピック 9月3日

#### [13に関するデータ]

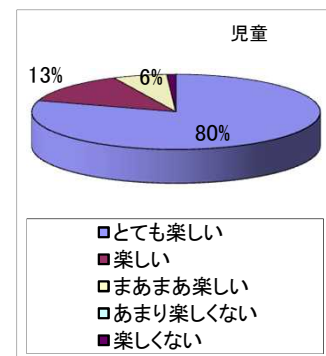
○学校行事や諸活動に保護者の協力を得るよう、十分な働きかけをしているか。(平均値 保護者3.72 教員3.95)

保護者 大変良い(16%) 良い(45%) だいたい良い(35%) やや不十分(3%) 不十分(1%)  
 教員 大変良い(10%) 良い(75%) だいたい良い(15%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○家庭や地域の教育力を、学校の教育活動に積極的に活用しているか。(平均値 保護者3.88 教員4.15)

〈学校支援地域本部事業〉

- ・学習指導への補助 ... 読み聞かせ/毎週月・木(13名登録, 低学年を優先して実施) 校外学習の引率補助, 家庭科での裁縫の補助 親子学習会(講師:大館市消防署員・ポーセラーツ講師) ふるさとキャリア教育(大館郷土博物館鳥潟幸男氏・大館市観光課石田徹氏・釈迦内サンフラワープロジェクト日景賢悟氏・陽気な母さんの店畠山市子氏・大館市移住交流課塩崎泰良氏・佐々木美佳氏・北の國庵國元厚孝氏・柴田慶信商店柴田昌正氏・古書やまもと山本洋子氏・大館市子ども課佐々木利将氏・青柳美和子氏・さくら理容館貝森政彦氏・山城運動具店・えのぐ屋・ウオズミ片町本店・ローソン大館一心院南店・いとく東台店・クローバー花店・めがねサロンウイング店・伊東写
- ・クラブ活動の指導 ... 英語, パソコン, お茶, オカリナ, 手話, バルーンアート
- ・行事等への支援 ... 新体力テスト測定補助 毎朝のあいさつ運動(保護者143人 参加率71.5% 7月まで)



お父さんやお母さん、地域の方と一緒に勉強したり、活動したりするのは楽しいですか(平均値 児童4.68)